

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度流域を含めた治水対策等に関する検討業務
業 務 概 要	本業務は、流域治水の計画的な推進を目的に流域治水に係る取組の実施状況や検討状況、実施にあたっての課題について整理し、流域治水の推進方策に関する調査・検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 中国地方整備局長 林 正道 広島市中区上八丁堀6-30
契 約 年 月 日	令和 6年 7月 2日
契 約 業 者 名	(一財)国土技術研究センター
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区虎ノ門3-12-1 ニッセイ虎ノ門ビル
契 約 金 額	44,924,000円(税込み)
予 定 価 格	44,935,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙「契約理由書」のとおり
業 務 場 所	中国地方整備局
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 6年 7月 3日
履 行 期 間 (至)	令和 7年 2月28日
備 考	入札情報サービス (P P I) ( <a href="https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx">https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx</a> ) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

## 契約理由書 (プロポーザル方式)

契約業者名： 一般財団法人 国土技術研究センター

業務の名称： 令和6年度流域を含めた治水対策等に関する検討業務

契約理由：

本業務は、流域治水の計画的な推進を目的に流域治水に係る取組の実施状況や検討状況、実施にあたっての課題について整理し、流域治水の推進方策に関する調査・検討を行うものである。

また、近年の河道管理の課題や被災事例、気候変動の議論等を踏まえ、河道計画や河道施設配置計画に活用する技術・知見の進展に関する情報等を取りまとめ、技術資料等の作成を行うとともに、堤防の決壊時や地震後の復旧事例、緊急対策シミュレーション結果から、より実施性のある緊急対策を行うためのチェックリストや最新技術等を取りまとめるものである。

業者の選定にあたっては、簡易公募型プロポーザル方式を採用し、配置予定技術者の経験及び能力、実施方針・実施フロー・工程計画・その他、評価テーマに関する技術提案について総合的に評価を行った結果、求める業務内容等に合致し、的確な提案を行っていることから、会計法第29条の3第4項、予算決算及び会計令第102条の4第3号により、上記業者と契約を行うものである。